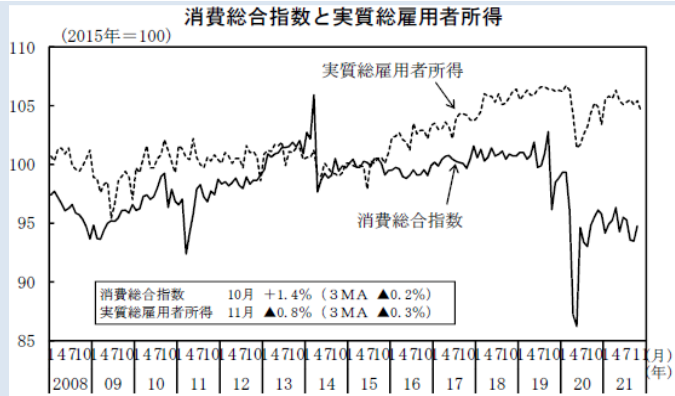


月例経済報告（2022年1月）

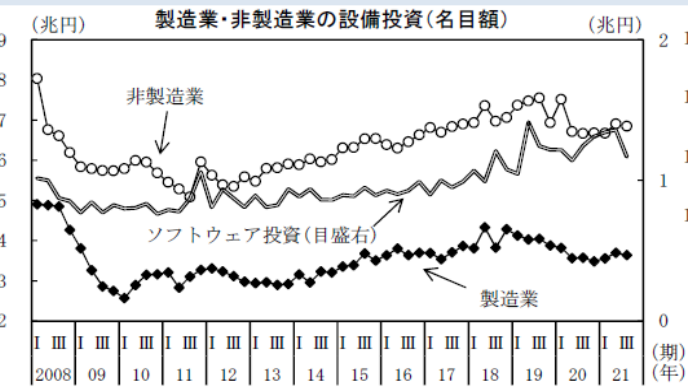
● 月例経済報告（1/18）

基調判断	(1月) 景気は、新型コロナウイルス感染症の影響による厳しい状況が徐々に緩和される中で、このところ持ち直しの動きがみられる。 感染対策に万全を期し、経済社会活動を継続していく中で、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、感染症による影響や供給面での制約、原材料価格の動向による下振れリスクに十分注意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響
	(12月) 景気は、新型コロナウイルス感染症の影響による厳しい状況が徐々に緩和される中で、このところ持ち直しの動きがみられる。 経済社会活動が正常化に向かう中で、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、供給面での制約や原材料価格の動向による下振れリスクに十分注意する必要がある。また、変異株をはじめ感染症による内外経済への影響や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

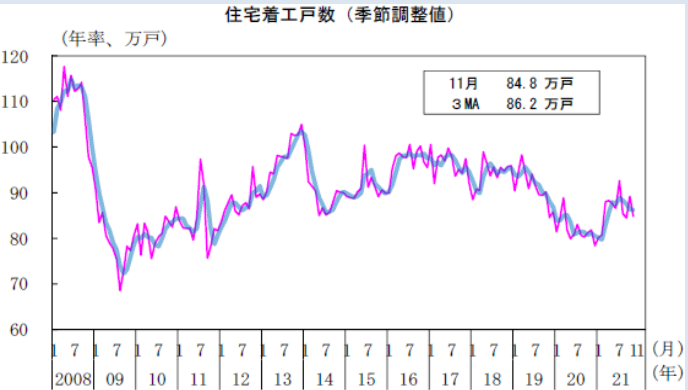
個人消費	(1月) このところ持ち直している。
	(12月) このところ持ち直している。



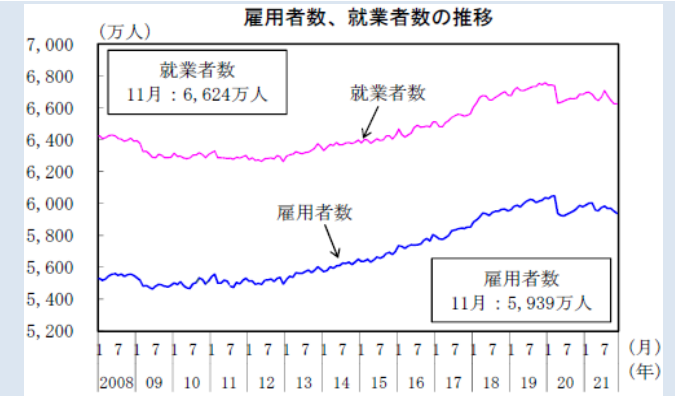
設備投資	(1月) 持ち直しに足踏みがみられる。
	(12月) 持ち直しに足踏みがみられる。



住宅建設	(1月) おおむね横ばいとなっている。
	(12月) おおむね横ばいとなっている。



雇用情勢	(1月) 感染症の影響が残る中で、引き続き弱い動きとなっているものの、求人等に持ち直しの動きもみられる。
	(12月) 感染症の影響が残る中で、引き続き弱い動きとなっているものの、求人等に持ち直しの動きもみられる。



<p>生産</p>	<p>(1月) 持ち直しの動きがみられる。</p> <p>(12月) 持ち直しに足踏みがみられる。</p>																									
<p>輸出</p>	<p>(1月) おおむね横ばいとなっている。</p> <p>(12月) おおむね横ばいとなっている。</p>	<table border="1" data-bbox="1228 627 1356 896"> <tr><td>全体</td><td>11月</td><td>+6.9%</td></tr> <tr><td></td><td>3MA</td><td>+0.4%</td></tr> <tr><td>アジア</td><td>11月</td><td>+2.5%</td></tr> <tr><td></td><td>3MA</td><td>▲1.1%</td></tr> <tr><td>アメリカ</td><td>11月</td><td>+3.6%</td></tr> <tr><td></td><td>3MA</td><td>▲2.5%</td></tr> <tr><td>EU</td><td>11月</td><td>+3.4%</td></tr> <tr><td></td><td>3MA</td><td>+0.9%</td></tr> </table>	全体	11月	+6.9%		3MA	+0.4%	アジア	11月	+2.5%		3MA	▲1.1%	アメリカ	11月	+3.6%		3MA	▲2.5%	EU	11月	+3.4%		3MA	+0.9%
全体	11月	+6.9%																								
	3MA	+0.4%																								
アジア	11月	+2.5%																								
	3MA	▲1.1%																								
アメリカ	11月	+3.6%																								
	3MA	▲2.5%																								
EU	11月	+3.4%																								
	3MA	+0.9%																								
<p>国内企業物価</p>	<p>(1月) <u>このところ上昇テンポが鈍化している。</u></p> <p>(12月) 上昇している。</p>																									
<p>消費者物価</p>	<p>(1月) 底堅さがみられる。</p> <p>(12月) 底堅さがみられる。</p>																									
<p>海外経済</p>	<p>(1月) 世界の景気は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が緩和される中で、持ち直している。 先行きについては、先行きについては、持ち直しが続くことが期待される。ただし、<u>感染の動向</u>や供給面での制約、<u>原材料価格の動向</u>による下振れリスクに留意する必要がある。また、<u>金融資本市場の変動等</u>の影響を注視する必要がある。</p> <p>(12月) 世界の景気は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が緩和される中で、持ち直している。 先行きについては、持ち直しが続くことが期待される。ただし、供給面での制約や原材料価格の動向による下振れリスクに留意する必要がある。また、<u>変異株をはじめとする感染の動向</u>や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</p>																									